



GLOCAL(グローバル) 鳴北

時津町立鳴北中学校
令和6年度 学校だより No. 18
令和6年9月9日
文責 校長 山本将司

2学期が始まりました！

2学期が始まって、1週間が経ちました。学校には、生徒たちや先生方の元気な声が響き渡り、活気が戻っています。8月末は、台風接近により臨時休業を余儀なくされましたが、被害などはありませんでしたか。心配なことがあれば、いつでも担任の先生に相談してください。

さて、2学期始業式で、パリオリンピックのフェンシング日本代表の話をしました。今回、金2つを含む5つのメダルを獲得しましたが、フェンシングU20日本代表コーチであられる山口さんは「突然強くなったわけではない」と分析されています。ここ数回のオリンピックで少しずつ好成績を残しているフェンシング日本代表ですが、その以前は、世界との差に苦しんだ時期があったようです。その差を埋めたのは「意識を変えたこと」だったとのことでした。少しずつ高い目標を意識して生活することの大切さを物語っています。

これは、私たちにも同じことが言えます。誰だって、突然良くなったり、うまく行ったりすることはあまりありません。何事においても、少しずつ「意識を高める」ことが大切です。ぜひ、2学期を充実させるために、「意識を高める」ことに取り組んでほしいと思います。

以下に、2学期の始業式で、各学年の代表生徒が話してくれた決意を紹介します（一部省略）。

【1年生代表 1-2 本川裕稀 さん】

頑張りたいことが3つあります。1つ目は、3分前着席2分前学習の徹底です。学力向上につなげていきたいと思っています。2つ目は公共物の使い方や公共の場での過ごし方です。周りの人が気持ちよく過ごせる環境づくりを意識したいです。3つ目は、合唱コンクールです。クラスの絆、学年の団結力を高めていけるように、日々の練習から頑張っていきたいと思っています。

【2年生代表 2-2 眞武高弘 さん】

1学期で良かった点の1つ目は自分の仕事に責任をもって行動することができたことです。2つ目は、周りの状況を判断して、けじめをつけることができたところです。課題としては、期間内に課題を提出できず、周りの人に迷惑をかけてしまう人がいたことです。今学期は3年生から2年生へとバトンを受け取る時期になります。先輩たちが代々築き上げてきたものの重みを理解し、2年生全員が一丸となって、自覚をもって行動していきたいです。

【3年生代表 3-2 富永晴斗 さん】

今日から始まる2学期は、これまでの学習の成果を試す大切な時期です。その中で、頑張りたいことが3つあります。1つ目は、反応です。反応をした方が自分の勉強にもなると思います。自ら積極的に授業に参加して手本となれるよう頑張ります。2つ目は、学校行事です。特に合唱コンクールでは、学級で協力して行う最後の行事なので、去年よりも迫力のある合唱を披露できるよう、みんなで一致団結して頑張ります。3つ目は、勉強です。受験生としての自覚をもち、勉強を頑張りながら学級学年で受験に向かって集中する雰囲気を作っていきたいと思っています。2学期は、私たちにとって大きな転換期です。みんなで第一志望校に合格できるよう、よりよい集団として成長していきましょう。

アメリカ人心理学者 ウィリアム・ジェームスの言葉

「If you can change your mind, you can change your life. (心が変われば、人生が変わる)」